

**京都産業大学探検部山班**  
**比良縦走 新歓 滝めぐり合宿**



2002年5月18日～19日

【八淵の滝～八雲ヶ原～夫婦滝】

## 【合宿の概要】

期間：平成14年5月18日～19日

場所：滋賀県高島郡安曇川町 八淵の滝

公費：3000円（内訳：18日夕食、19日朝食・昼食、行動食、交通費）

### 参加者

CL・食料	貫田 祐之	3回生	A型
SL・調理	佐藤 茂	3回生	AB型
会計	里見 真希子	2回生	O型
記録	望月 美里	2回生	O型
救急	藤井 隆之	1回生	B型

食料計画：18日 夕食（ハヤシライス、パイナップル）

19日 朝食（麻婆春雨）、昼食（バタークッキー、紅茶）

団体装備：テント（mont-bell）、ペグ、断熱マット、コップ、ヘッド（2）、ガス缶（3）、救急セット、キッチンセット、団体非常食、伸縮オタマ

個人装備：シュラフ、ザックカバー、断熱マット、雨具上下、軽登山靴、軍手、ヘッドランプ、替え電池、替え電球、細引、タオル、ナイフ、防寒具、着替え（化繊のものがよい）、米1合、保険証のコピー、ポリタンク（1.5～2リットル）、非常食、食器、学生証、計画書、トレペ、シルバーコンパス、ビール、おつまみ

緊急連絡先：在京連絡人 阿部 秀亮（経済学部3回生）  
探検部顧問 横山 茂樹

現地緊急連絡先： 堅田警察署 077-573-1234  
大津市北消防署志賀分署 077-592-0119  
国立診療所比良医院 075-594-1122  
比良ロッジ 077-596-1068  
八雲ヶ原キャンプ場 077-596-1559

### 【行動記録】

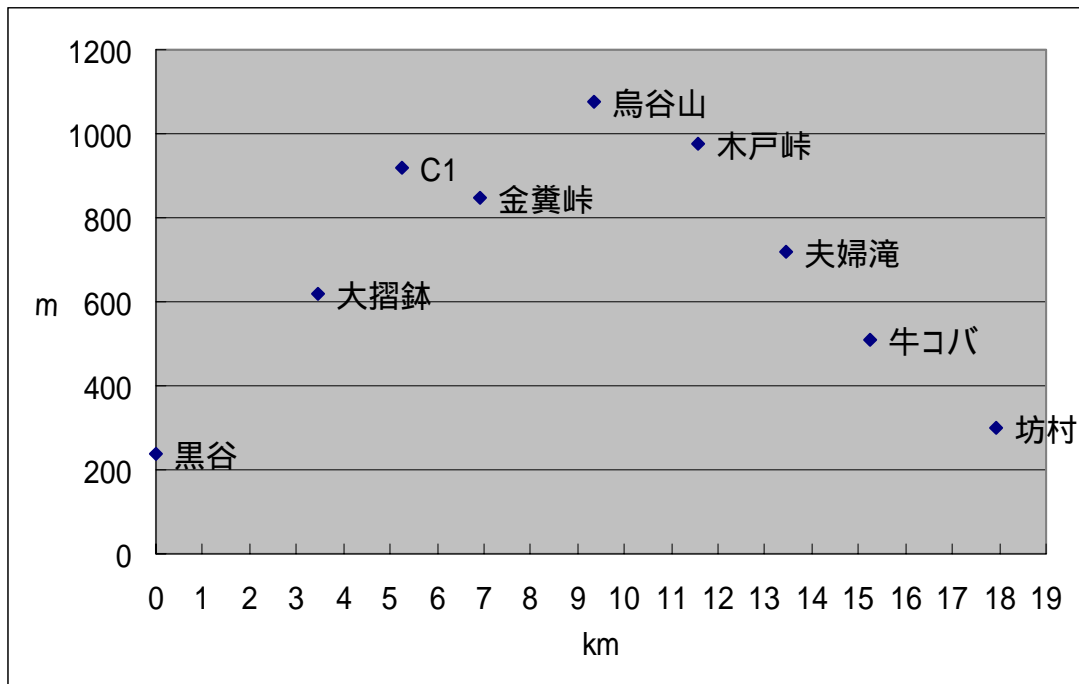
18日	12:15 JR 京都駅集合 12:44 出発 13:23 JR 近江高島駅着 13:45 黒谷着 14:00 山行開始 16:00 大摺鉢着 17:10 貴船の滝着 18:40 八雲ヶ原着 設営 19:20 夕食 3:30 消灯	登山口で届けを出す。雨が降り出したので雨具を装着。 雨で増水していたせいか障子の滝を渡る時に命の危険を感じた。八淵の滝全体として鎖場が多く、大きな荷物が邪魔になることも。 八雲ヶ原に着くと視界が一気に広がって爽快感があった。 夕食後トランプなどをしたが、罰ゲームの脱衣&暴露合戦が盛り上がり、夜更かしをしてしまった。
19日	9:30 起床 9:50 朝食後ミーティング 10:10 徹営 11:25 山行開始 12:35 南比良峠着 13:33 葛川越着 昼食 14:35 木戸峠着 15:31 夫婦滝着 16:40 牛コバ着 17:24 坊村着 18:30 京阪出町柳駅着 19:28 京都産業大学着 片付け 20:08 解散	前日、はしゃぎ過ぎたため寝坊した。雨がかなり降っていたため武奈ヶ岳をあきらめて、縦走コースへ。登りのキツイところもあるため休憩が多くなった。 アップダウンの繰り返しで凹んでいたSLだが、夫婦滝が見えた瞬間、一気にテンションが上がる。滝見台から写真を撮るなどして、はしゃいでいたがあまり時間がないうちに気付く。 牛コバのあたりからCL・SLがバス停まで走ることに。(あわよくばバスを止めようとした)がギリギリで全員、間に合った。

### 【会計報告】

食料代	18日夕食 19日朝食・昼食 個人行動食(飴、ラムネ、チョコ)	2000円 (一人400円)
交通費	JR(京都~近江高島) バス(近江高島~黒谷) バス(坊村~京阪出町柳)	820円 510円 990円

一人当たりの金額 2720円

## 【概念図とコースの解説】



### 【黒谷～大摺鉢】

当初の計画ではガリバー村から行く予定だったが、一回生の都合に合わせてので黒谷から歩くことになった。民家を通っていくと登山口がある。そこからは林道みたいのところを歩き、だんだんと山道になっていく。

前日に雨が降って増水していたせいか、障子の滝を渡るには足を濡らさなければならなかった。ここは流れ落ちる滝の横を杭と鎖で水煙の中を登っていくのだが、岩が濡れていて滑りやすくなっておりこの合宿で一番危険な場所だったかもしれない（ガリバー村から行けばここは登らないで済む）。

### 【大摺鉢～八雲ヶ原】

数十分のうちに連続して滝があり、登っていて疲れを感じさせないコース。山登りというか岩登りという感じで足よりも体全体を使ってよじ登っていく。

貴船の滝を渡るには鎖場を降りて、谷を渡って、はしごを登るので十分に注意しなければならない。登り終わると遭難の碑があった（もしかしたら、Jフォンのデジカメで滝を写したら滝の中に人の顔らしきモノが映ったことと関係があるかもしれない！？）。

八つの滝を過ぎると普通の山道になっていき、鬱そうとした登りが続くがスキー場にでた瞬間、一気に視界が広がって気分が晴れる。

### 【金糞峠～木戸峠】

比良山系縦走ルートに入っていくのだが峠が4つもあり、アップダウンが繰り返される。いくつか傾斜のキツイところもあったりするので覚悟が必要。エエリアには比良岳から木戸峠の間に水場の表記があったのだが見つからなかった。

### 【木戸峠～牛コバ】

木戸峠を過ぎるとすぐにびわ湖バレイに着く。木の上に家？（見晴台かも）が作っており一同、大はしゃぎする。リフトは動いており、自販機やトイレなどもあって便利（各自ジュースやビールなどを購入する）。川沿いの道は水と緑がとても綺麗で気持ちが良いが、スベリ石といわれる場所もある。石が濡れていて、さらに下りなので注意が必要。

### 【牛コバ～坊村】

なだらかな林道を降りてゆく。バスの時間に間に合わない危険性があったのでCLとSLはランニングで走り降りた。バス停まで意外と距離があった気がする。くれぐれも余裕を持った山行計画を立てましょう。

## 【CLの反省】

今回、初めての山のチーフというものをやってみたが、やはり難しいと思った。時間に追われる合宿となってしまったわけだが、いくつかの原因が考えられる。まず、休憩時間が長すぎること（5分のつもりが10分、15分に...）。また山慣れしていない人や、山嫌いの人が出たこと。滝を見てはしゃぎ過ぎてしまったこと。...などいろいろ考えられるが、一番の失敗は計画の段階で時間配分を甘くみていた事だろう。「標高がそんな高くないから」と油断して時間的な余裕を持たせなかった。結局二日目はバスに乗り遅れそうになり、牛コバから坊村バス停までザックのままランニングする羽目になってしまった。（決断を迷っていた時に叱咤激励し、バス停まで一緒に走ってくれた佐藤には本当に感謝である）今回の反省を次へとつなげて行きたい。

## 【感想文】

### 1回生 藤井 隆之

滝めぐりに行ってきました。メンバーの中で1回生は自分だけだったので、最初は不安でした。でも先輩たちが気軽に話しかけてくれるので安心しました。山行は大変でしたが、たくさん自然と触れることができ良かったと思います。特に、貴船の滝には圧倒されました。自然のすごさを直に感じることができました。後、先輩達はやさしくて頼りがいがあるので自分も頑張れたんだと思います。先輩達とも仲良くなれて良かったです。体はとも疲れましたが、心はとても充実して、自分にとっても記憶に残る体験となりました。

### 2回生 里見 真希子

今回の合宿はかなりハードでした。でも私ごのみのデンジャラスなコースだったので、とても良かったです。岩登りというたいへん貴重な体験をさせていただきました。今度行く時は、気がねなく滝へ飛び込めるように水着を持っていきたいと思います。

### 2回生 望月 美里

ありのままに動くべし。あとの事は考えない。

### 3回生 佐藤 茂

山登りは好きではない。もう二度と山合宿には行かないだろうと思っていた。気がつけば3回生になっている。今年で引退である。やはり、最後に一度くらい山を攻めてもいいかなと思った。しかし夏休みの長期合宿で山を登る気にはなれない。さてどうしようと考えていると、貫田隊員（3回生山岳隊総隊長）が滝めぐりしながら山を登るという、なんともゆるそうで私にぴったりのタイトルの合宿案を出したのでこれに飛び込むことにした。出掛けのバスはローカルだった。しかも運転手殿がやたら話し好きで、ママシが上からおそってくるとか、熊が4日前に出たとか子連れの子に出会ったら逃げる間もなく全滅だとか、手の打ちようのないナイスな情報を提供してくれて我々の意気を消沈させてくれた。30分も山を登るとやはり自分は山登りにむいてないな、と痛感した。しかし、滝はきれいだった。今までの疲れを完全に忘れさせてくれるほどの壮観さであった。マイナスイオンが出てるといのは本当らしい。滝を前にして問題が一つ生じた。道がなくなったのである。みんなで色々探し回ったが、無い。一つ気になったのが、滝の真横に打ちつけられている。わっかやクギのようなものがあること。地図を確認しても道は滝の上を示している。新入生歓迎合宿なのに！ザック背負ってクライミングじみたことをしないとイケないとは！チーフいわく「こんなあるとは知らなかった。」である。山が苦手な自分の予想をはるかに上回り、裏切ったチーフに恨みと嘆きの波動を飛ばしながら私はクライミングした。ザックの重みは滝が手をのばして私の背中を引っばっているようにも感じた。その後

もくさりを登ったりとか、Jフォンのカメラでとると顔が映る滝があったりした。それらが私の疲れをいやすことはなかったが、忘れることができたのもまた事実である。～中略～やはり私は山登りは苦手であることを自覚した。しかし、今回の滝を見ながらの山登りは、かなりの私の肌にあった。たぶん最後であろう私の山合宿にふさわしい、良い思い出ができた。チーフに感謝感謝。

### 3回生 貫田 祐之

障子の滝で命の危険を感じた。大摺鉢の水の中へS見が入っていった時になんでだろう？と思った。滝をみてマイナスイオンをたくさん浴びたので健康になったに違いない。が、沢登りなんかすると信じられないくらい健康になるんでは？

### 【アンケート】

参加したメンバーに「一番楽しかった事、一番辛かった事」を聞いてみた。

楽しかった事	鎖場 岩を登ったこと 貴船の滝に顔が映るのが良い 滝へ入ったこと、岩登りをしたこと
辛かった事	山登り 最後のラストスパート 山の階段 下りの岩場